# 令和7年度 第2四半期

経過的長期給付組合積立金管理及び運用実績の状況



# 目次

令和7年度	第2四半	¥期運用実絹	責の概	要・	•	٠.	•	•	 •	•	•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	 •	٠	•	 •	•	 •	•	•	•	2
令和7年度	市場環境	竟(第2四≐	半期)				•					 •		 •							•	•			•			 				3
令和7年度	資産の構	構成割合•					•		 			 •						•			•			•	•			 			•	5
(参考)令和	116年度	資産の構成	戊割合					•	 									•			•	•	 •	•				 				6
令和7年度	運用利回	回り・・・					•		 					 •							•				•			 				7
(参考)令和	06年度	運用利回り	t				•		 		•	 •		 •			•	•			•	•	 •	•	•	 •		 			•	8
令和7年度	運用収入	人の額・・					•		 			 •						•			•			•	•			 			•	9
(参考)令和	06年度	運用収入(	D額·				•		 					 •							•				•			 			• 1	0
令和7年度	資産額・						•	•	 		•						•						 •		•	 •		 •			• 1	1
(参考)令和	116年度	資産額•					•	•	 		•						•						 •		•	 •		 •			• 1	2
用語解説(50	0音順) •								 																						• 1	3

### 令和7年度 第2四半期運用実績の概要

運用利回り

十 5 . 8 4 % 修正総合収益率

運用収益額

1, 2 1 9 億円 総合収益額

運用資産残高 (第2四半期末)

2 兆 1, 7 6 1 億円 <sub>時価総額</sub>

情報公開を徹底する観点から、運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点の時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

### 令和7年度 市場環境(第2四半期)

#### 【各市場の動き (7月~9月)】

国内債券: 10年国債利回りは、参議院選挙の結果を受けた財政拡張への思惑や、9月の日銀金融政策決定会合を受け追加利上げ観測が高まったこと等を

背景に上昇しました。

国内株式: 国内株式は、日米関税合意を受け企業業績の過度な悪化懸念が後退したことや、生成AI投資の拡大期待等から堅調に推移しました。期末にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ再開に伴う米国株高等を背景に上げ幅を拡大しました。

外国債券: 米国10年国債利回りは、関税政策によるインフレ懸念から上昇して始まりましたが、7月の雇用指標が市場予想を下回ったことから低下に転じ、その後は、ジャクソンホール会議でのFRB議長の利下げ再開示唆や、9月の利下げ実施等を背景に低下しました。

ドイツ10年国債利回りは、ECB(欧州中央銀行)が利下げ打ち止めを示唆したこと等から、小幅に上昇しました。

外国株式: 米国株式は、各国との関税交渉の合意や、生成AI投資の拡大期待に加え、公表されたGDP成長率が市場予想を上回り経済の底堅さが示された ことや、FRBによる利下げ再開等を背景に上昇しました。

ドイツ株式は、米国との関税合意がされるも、製造業景況感の停滞等景気への警戒感がくすぶる中、ECBが利下げ打ち止めを示唆したことに加え、EU域内での政局不安等が株価の重しとなり、小幅に下落しました。

外国為替: ドル/円は、期初は米国の金利上昇による日米金利差の拡大や、日本の参議院選挙の結果を受けた財政拡張観測等から円安ドル高が進行しました。その後米国で雇用指標が市場予想を下回り、FRBによる利下げ再開期待から円高ドル安に転じましたが、米国のGDPが予想を上回り経済の底堅さが示されたこと等を背景に再び円安ドル高となりました。

ユーロ/円は、日本の参議院選挙の結果を受けた財政拡張観測や、ECBが利下げ打ち止めを示唆したこと等を背景に円安ユーロ高となりました。

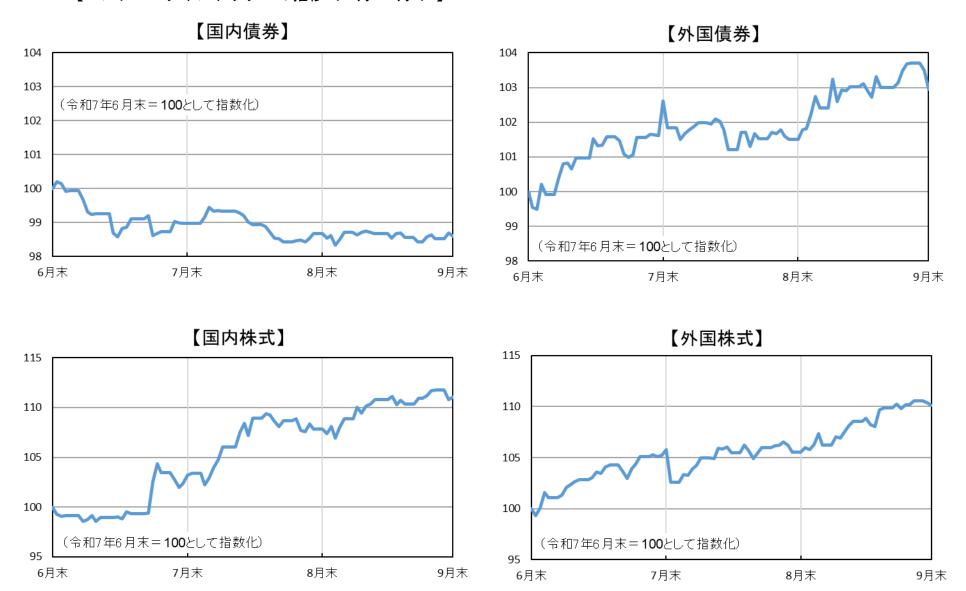
#### 〇参考指標

			令和7年6月末	7月末	8月末	9月末
国内債券	10年国債利回り	(%)	1. 43	1. 56	1. 60	1. 65
国内株式	TOPIX配当なし	(ポイント)	2, 852. 84	2, 943. 07	3, 075. 18	3, 137. 60
国内休式	日経平均株価	(円)	40, 487. 39	41, 069. 82	42, 718. 47	44, 932. 63
以同信米	米国10年国債利回り	(%)	4. 23	4. 37	4. 23	4. 15
外国債券	ドイツ10年国債利回り	(%)	2. 61	2. 70	2. 72	2. 71
	NYダウ	(ドル)	44, 094. 77	44, 130. 98	45, 544. 88	46, 397. 89
以団状士	ナスダック	(ポイント)	20, 369. 73	21, 122. 45	21, 455. 55	22, 660. 01
外国株式	ドイツDAX	(ポイント)	23, 909. 61	24, 065. 47	23, 902. 21	23, 880. 72
	イギリスFT100	(ポイント)	8, 760. 96	9, 132. 81	9, 187. 34	9, 350. 43
以日本扶	ドル/円	(円)	144. 45	150. 50	146. 83	147. 69
外国為替	ユーロ/円	(円)	169. 56	172. 25	171. 86	173. 53

#### (ベンチマーク収益率)

	令和7年7月~9月
国内债券	<b>▲</b> 1.40%
NOMURA-BPI総合	<b>2</b> 1. 40%
国内株式	11. 04%
TOPIX (配当込み)	11.04%
外国债券	2.94%
FTSE世界国債(除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)	2. 94%
外国株式	10. 13%
MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)	10.13%

#### 【ベンチマークインデックスの推移 (7月~9月)】



(注)市場ベンチマークインデックスは以下のとおり。

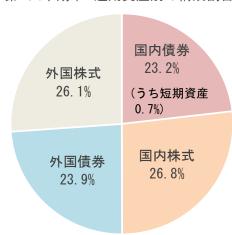
国内債券: NOMURA-BPI 総合、外国債券: FTSE世界国債(除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース) 国内株式: TOPIX(配当込み)、外国株式: MSCI ACWI(除く日本、円ベース、配当込み)

## 令和7年度 資産の構成割合

(単位:%)

				(単位: %)
		令和 7	7年度	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内债券	24. 5	23. 2	1	_
短期資産	(0. 7)	(0. 7)		_
国内株式	25. 7	26. 8		_
外国債券	24. 2	23. 9		_
外国株式	25. 6	26. 1	_	_
合 計	100.0	100.0	1	_

第2四半期末 運用資産別の構成割合



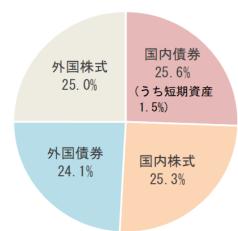
- (注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25%(±9%)、国内株式25%(±9%) 外国債券25%(±7%)、外国株式25%(±9%)です。
- (注2) 生命保険及び短期資産は国内債券に含めています。
- (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## (参考) 令和6年度 資産の構成割合

(単位:%)

	1			(+4:70)
		令和 6	6年度	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内债券	24. 6	26. 1	24. 6	25. 6
短 期 資 産	(1. 3)	(1.5)	(1.4)	(1.5)
国 内 株 式	25. 9	25. 0	25. 8	25. 3
外国債券	23. 2	23. 2	23. 3	24. 1
外 国 株 式	26. 3	25. 6	26. 2	25. 0
合 計	100. 0	100.0	100.0	100.0

令和6年度末 運用資産別の構成割合



- (注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25% (±20%)、国内株式25% (±12%) 外国債券25% (±9%)、外国株式25% (±11%)です。
- (注2) 生命保険及び短期資産は国内債券に含めています。
- (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

### 令和7年度 運用利回り

- 第2四半期の修正総合収益率は 5.84%、実現収益率は 2.45%となりました。
- 資産別の修正総合収益率については、国内株式は 11.25%、外国債券は 2.98%、外国株式は 9.16%とプラスの収益率となりましたが、国内債券は ▲0.53%とマイナスの収益率となりました。

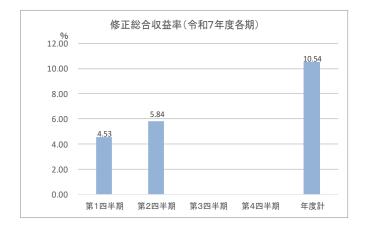
(単位:%)

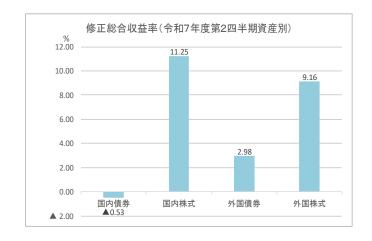
					( — <u>—</u> . , , , ,
			令和7年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	2. 21	2. 45	_	_	4. 65
修正総合収益率	4. 53	5. 84	_	_	10. 54

			令和7年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	4. 53	5. 84	I	_	10. 54
国内债券	0. 10	▲0. 53		_	▲0.42
短期資産	(0. 07)	(0. 01)	_	_	(0. 10)
国内株式	8. 87	11. 25	ı	_	20. 78
外国债券	1. 48	2. 98	_	_	4. 50
外国株式	7. 61	9. 16	_	_	17. 17



- (注2) 各四半期及び年度計の収益率は期間率です。
- (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



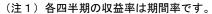


## (参考) 令和6年度 運用利回り

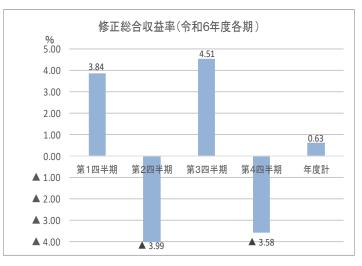
(単位:%)

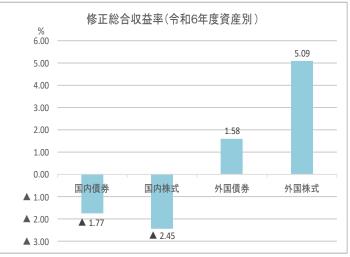
			令和6年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 率	4. 73	2. 67	2. 20	1.78	11. 39
修正総合収益率	3.84	▲ 3.99	4. 51	▲ 3.58	0. 63

			令和6年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	3.84	▲ 3.99	4. 51	▲ 3.58	0. 63
国内债券	▲ 1.06	0. 93	▲ 0.54	▲ 1.14	<b>▲</b> 1.77
短期資産	(0.01)	(0. 03)	(0.02)	(0.05)	(0. 11)
国 内 株 式	1.91	▲ 5.88	6. 24	<b>4</b> . 48	<b>▲</b> 2. 45
外国債券	5. 46	▲ 5.42	4. 02	<b>▲</b> 2.08	1. 58
外国株式	8. 92	▲ 5.41	8. 28	▲ 6.32	5. 09



- (注2) 収益率は、運用手数料控除後のものです。
- (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。





### 令和7年度 運用収入の額

- 第2四半期の総合収益額は 1,219億円、実現収益額は 405億円となりました。
- 資産別の総合収益額については、国内株式は 605億円、外国債券は 152億円、外国株式は 489億円とプラスの収益額となりましたが、国内債券は ▲27億円とマイナスの収益額となりました。

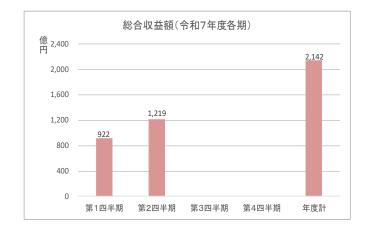
(単位:億円)

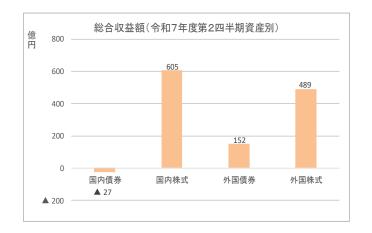
			令和7年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 額	368	405	_	_	773
総合収益額	922	1, 219	_	_	2, 142

			令和7年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第 4 四半期	年度計
総合収益額	922	1, 219	ı	_	2, 142
国内债券	5	▲ 27	ı	_	▲ 21
短期資産	(0)	(0)	_	_	(0)
国内株式	453	605	_	_	1, 058
外国債券	73	152	_	_	225
外 国 株 式	391	489	_	_	880



- (注2)総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



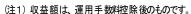


## (参考) 令和6年度 運用収入の額

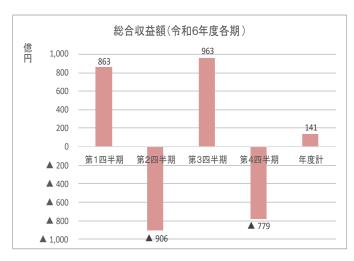
(単位:億円)

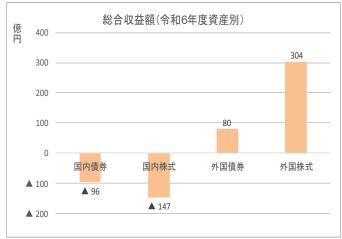
						(十四:1011)
				令和6年度		
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第 4 四半期	年度計
実 現 収 益	額	802	457	374	301	1, 935
総合収益	額	863	▲ 906	963	▲ 779	141

	令和 6 年度										
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第 4 四半期	年度計						
総合収益額	863	▲ 906	963	▲ 779	141						
     国 内 債 券     _	▲ 58	52	▲ 29	<b>▲</b> 61	<b>▲</b> 96						
短期資産	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)						
国内株式	115	▲ 345	335	<b>▲</b> 251	<b>▲</b> 147						
外国債券	273	▲ 288	201	▲ 107	80						
外国株式	532	▲ 325	457	▲ 360	304						



- (注2)総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。





# 令和7年度 資産額

(単位:億円)

	令和7年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益
国内债券	5, 224	5, 105	<b>▲</b> 119	5, 173	5, 043	<b>▲</b> 131	_	_	-	_	_	_
短期資産	(137)	(137)	(0)	(155)	(155)	(0)	_	_	ı	_	_	_
国内株式	3, 575	5, 374	1, 799	3, 590	5, 829	2, 239	_	_	-	_	_	_
外国債券	4, 869	5, 053	185	4, 930	5, 205	275	_	_	_	_	_	_
外国株式	2, 883	5, 345	2, 463	2, 879	5, 684	2, 806	_	_	_	_	_	_
合 計	16, 550	20, 877	4, 328	16, 571	21, 761	5, 190	_	_	_	_	_	_

<sup>(</sup>注1)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

<sup>(</sup>注2)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

# (参考) 令和6年度 資産額

(単位:億円)

	令和 6 年度											
	第 1 四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益
国内债券	5, 680	5, 584	▲ 96	5, 663	5, 610	▲ 53	5, 441	5, 365	▲ 75	5, 414	5, 272	<b>▲</b> 143
短 期 資 産	(300)	(300)	(0)	(324)	(324)	(0)	(314)	(314)	(0)	(307)	(307)	(0)
国内株式	3, 728	5, 873	2, 145	3, 721	5, 378	1, 657	3, 751	5, 622	1, 871	3, 731	5, 221	1, 490
外国債券	4, 734	5, 273	539	4, 790	4, 986	196	4, 768	5, 087	319	4, 859	4, 980	121
外国株式	2, 947	5, 983	3, 035	3, 003	5, 508	2, 505	2, 976	5, 715	2, 738	2, 922	5, 154	2, 232
合 計	17, 090	22, 713	5, 623	17, 178	21, 481	4, 304	16, 936	21, 789	4, 853	16, 927	20, 627	3, 700

<sup>(</sup>注)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

#### 用語解説(50音順)

- 基本ポートフォリオ 統計的な手法により定めた、最も適格と考えられる資産構成比(時価ベース)です。
- 〇 許容乖離幅

資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。

- 〇 経過的長期給付組合積立金 組合が経過的長期給付(旧職域部分)のため管理運用する積立金です。
- 〇 修正総合収益率

時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加え、時価に基づく収益を把握し、 それを元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用 の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

(計算式)

修正総合収益率= { 売買損益+利息·配当金収入+未収収益増減(当期末未収収益-前期末未収収益) +評価損益増減(当期末評価損益-前期末評価損益)} / (元本平均残高+前期末未収収益+前期末評価損益)

〇 総合収益額

実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加えることにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。(計算式)

総合収益額= 売買損益+利息·配当金収入+未収収益増減(当期末未収収益-前期末未収収益) + 評価損益増減(当期末評価損益-前期末評価損益)

○ ベンチマーク 運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。 組合で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。

• 国内债券

NOMURA-BPI 総合

野村證券株式会社が作成・発表している国内債券市場の代表的なベンチマークです。

- ※ NOMURA BPI 総合(以下「対象インデックス」という。)は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は同社に帰属します。なお、同社は、対象インデックスを用いて行われる当組合の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- 国内株式

TOPIX (配当込み)

東京証券取引所が作成・発表している国内株式の代表的なベンチマークです。東証第一部の基準時の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。

- ※ TOPIX配当指数の指数値の標章は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、指数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利及びTOPIX配当 指数等の標章に関するすべての権利は東京証券取引所が有します。
- 外国债券

FTSE世界国債インデックス(除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、国際債券投資の代表的なベンチマークです。

- ※ このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、 FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬, 脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- 外国株式

MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)

MSCI Inc. が作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。

〇 ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率で、いわゆる市場平均収益率のことです。